

校長室通信

小国町立小国中学校

令和4.9.9(金)No14

文責 狭間卓史



「ひと夏の思い出」

8月26日から二学期が始まり、学校に生徒の姿が戻ってきました。この通信の12・13号では部活動等を中心に、生徒の夏休みの様子をお伝えしましたが、今号では、そこで紹介しきれなかった生徒の頑張りの姿をご紹介します。

まず、8月4日(木)に小国町教育委員会主催で「英会話・寺子屋学習会」が開催されました。この企画は以前から続いていたものですが、コロナ禍で過去二年間は実施できていませんでした。久しぶりの開催ということで、本校生徒にとっても新鮮な企画となりました。午前中の英会話学習会では、従来は県内に留学している方々をお招きしての開催でしたが、コロナ禍の状況ということもあり、本年度は県内各地でALTとして活躍している方々をお招きしての会でした。さすがALTの皆さん方だけに、生徒と接するのが上手でしたし、本校生徒もとても意欲的に臨めており、それは嬉しい姿でした。

午後は、小国高校生が指導役を担う寺子屋学習会でしたが、今春、本校を卒業した高校生も数名おり、本校生徒にとってはもちろんのこと職員にとっても、嬉しい時間となりました。高校の制服を身につけていることありますが、一段と成長した姿を示してくれました。きっと、本校生徒も一年後、二年後にはそういう姿を示してくれるのだろうと今から楽しみです。

また、8月22日・23日には、これも教育委員会主催の行事でしたが、熊本大学院生を招いて「フォローアップスクール」を開催していただきました。今年の大学院生は6人でしたが、その内の一人が本校卒業生の佐藤遥さんでした。私が前回、本校勤務時に生徒会長を務めていた生徒さんでしたが、自分の目標の実現に向けて元気に頑張っている姿を目の当たりにすることができ、こんなに嬉しいことはありませんでした。

そして最後にご紹介したいのが、男子ソフトテニス部員のことです。この夏休み期間中、ほぼ毎日、杖立川の清掃活動に取り組んでくれました。毎日、夕方5時過ぎになると、この一団が学校に現れ、その日の回収物を披露してくれていました。川沿いですから雨の後には「大物」が落ちていたらしく、時にはびっくりするくらい大きさのゴミを見せてくれることもありました。誰に頼まれたわけでもなく、自分たちで話し合っ取り組んだとのことですが、生き生きとした表情で報告してくれる姿に頼もしさを感じるばかりでした。自分たちで気づき、考え、行動する。こういう生徒を育てていきたいと改めて感じた夏休みでした。

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。



【英会話教室】



【寺子屋教室 指導は小国高校生】



【フォローアップスクール 指導の大学院生】



【指導者の一人は本校卒業生】



【ボランティアメンバーとひと夏の成果】